表1

JST補助金による旅費支援の考え方 2009/04/19 高橋友一@日本委員会ジュニア

A. 対象者と対象内容

1 対象者

世界大会出場チーム

大会参加メンバー数 a
(メンターは対象としない)

各チャレンジの技術担当 (国際委員TCに立候補者) b (default値: 3名)

国際担当の運営委員(national representative) c (default値: 1名)

2 支援対象

海外旅費と宿泊費

注: 障害保険など保険は含まない。

B. 金額

1 JST補助金 (当該年度額予算予算、設定額) x

2 ジュニア限定スポンサー支援金 y

(用途限定の時はその額、その他は前年度11月の実行委員会で承認を得た額)

3 その他 z

C. 支援額算出式

1 基本額

A= $(x+y+z) / (a+b+c)$ で1,000円単位で切り下げた額。

2 参考額

Ba= 日本委員会が旅行代理点に見積り依頼し、算出した海外旅費 (含む、燃料費、)

Bb= 参加チームが自分で旅行代理店から購入した旅費のうち海外旅費 (含む、燃料費)
注: Ba, Bbとも国内移動料は含まない。

C= 宿泊費 (地域をとわず1泊10,000円)
注: ジュニアリーグ開催日数を最大宿泊数とする。

3 支援額

A $\geq$ (Ba + C) の時、チームに変動する。

Ba > Bb の時: (Bb + C) とする。

Bb $\geq$ Ba の時: (Ba + C) とする。

A < (Ba + C) の時、チームによらず一定額とする。

A とする。

D. 支援実施の条件

1 本人宛の見積り、領収書、本人名の搭乗券の半券の原本を提出すること。

注: 児童、生徒であっても見積り書、領収書は本人の名前でお願いします。

保護者名の領収書では、JSTに大して書類として不備になります。

注: 本人名の搭乗券の半券が必要です。

大会参加前に病気などで、参加できなくなった時、飛行機のキャンセル代など

表1

担当理事

空港使用料)
費、空港使用料)

は対象とならない。